

名古屋市立大学病院

病院長名	間瀬 光人
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

病院の特徴

当院は800床の病床、31の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

研修プログラムの特徴

名古屋市立大学麻酔科専門研修プログラム

プログラムの特徴は、①様々な得意分野をもった指導医の存在、②豊富な「学び」の場の存在、③人間関係の良さ、です。末梢神経ブロック、心臓エコーなどの得意分野を持った指導医のもと、多彩な知識が自然に吸収できます。また、時間的余裕のある工夫した教育プログラムを提供しており、「教育」的な指導医がやさしく指導します。人間関係は良好で、若手からベテランまで皆で助け合う雰囲気があるので、人間関係で悩まず「学び」に集中できます。

<研修モデル>

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	麻酔(名市大)	麻酔(小児、成人心臓麻酔を含む)・closed ICU(名市大)	麻酔(小児、成人心臓麻酔を含む)・closed ICU・ベインクリニック(名市大)	周産期麻酔(西部医療センター)
5月				
6月				
7月	麻酔・closed ICU(名市大)			
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



主な連携施設

名古屋市立大学医学部付属東部医療センター・西部医療センター、安城更生病院、海南病院、刈谷豊田総合病院、あいち小児保健医療総合センター、他多数の急性期病院で研修可能



メッセージ

麻酔科 部長 祖父江 和哉

全身管理を学びたい方へ確かな「学び」の場を提供します。



名市大病院麻酔科は、手術における周術期管理を中心として、集中治療、ベインクリニック、救急医療、緩和医療と様々な活躍の場があります。すべての領域のエキスパートになることはできませんが、若いうちに多くの領域をテイティングすることは、将来必ずあなたのためになります。多彩な指導医と一緒に「学び」ませんか。

募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与/月額	228,000円~478,000円	(勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数/月	4回程度	(診療科により異なる)
・当直料/回	24,000円~34,000円	
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者	医療人育成課臨床研修係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp